

きこえやことばなどに関する
教育相談の申込み

国分西小学校ことばの教室では、随時教育相談の申込みをお受けしています。
学校に通っているお子さんの場合、在籍する学校、教育委員会を通じて教育
相談の申込みをしてください。

幼児の場合は、直接下記へお電話ください。

国分西小学校 ことばの教室

TEL 0995-46-0305

～ おうちのかたへ ～

【ぜひやってみましょう】

- (1) よい聞き手になりましょう。
子どもが話しかけてきたら、喜んで、熱心に聞きましょう。
- (2) お話好きな子にしましょう。
身のまわりの話題で子どもとの会話を楽しみましょう。
- (3) 正しい「ことば」のお手本になりましょう。
「あっ、じょうだ!」→『ぞうがいるね、ぞうの鼻は長いね。』など。
- (4) たくさん話しかけましょう。
「ことば」は繰り返しの中で覚えます。

【できるかぎり 控えましょう】

- (1) ことばへの注意はやめましょう。
「もっとゆっくり」「もう一度はっきり」など。



教室案内



霧島市立国分西小学校

ことばの教室

国分西小学校「ことばの教室」とは？

わたしたちは皆、子どもたちが家族や友達とのふれあい（豊かなコミュニケーション）の中で、明るくのびのびと成長していく姿を望んでいます。しかし、きこえやことば、コミュニケーションなどに心配や不安を抱えて、悩んでいた、引っ込み思案になっていた子どもも少なくありません。子どもたち一人一人がそのような心配を解決、あるいは克服して、明るくのびのびと成長していけるように援助する場所が「ことばの教室」です。

対象となる子どもの様子



- (1) 発音に誤りがある。
 - ・ さかな→タカナ、からす→タラス、くえ→チュクエなどの発音の誤りがある。
- (2) 発音がはっきりしない。
 - ・ はっぱ→アッパ、れいぞうこ→レゾコなどのはっきりしない発音がある。
- (3) 話し始めの音を繰り返したり、伸ばしたりする。
 - ・ 「ばばば、ぼくはね」、「ぼーくはね」、「・・ぼくね」など、苦しそうに話す。
- (4) ことばの発達に遅れや偏りがある。
 - ・ ことばの数が少なく、ことばがうまくつながらない。
 - ・ ひらがなや漢字をなかなか覚えられない。
- (5) 耳が聞こえにくい。
 - ・ 呼んでも気づかないことがある。
 - ・ 話の聞き誤りや聞き返しが多い。
- (6) 緊張すると、ことばが出にくい。
- (7) 人前や学校で話することが極端に苦手。
- (8) 人の話をじっと聞くことが苦手。

できるだけ早い時期に、このような状況に気づき、専門の先生方に相談して、適切な対応を考えたり、指導を受けたりすることが大切です。

通級指導教室のしくみ



- 「通級による指導」を行う専門の先生がおり、1対1の個別指導を行います。必要に応じてグループ指導を行う場合もあります。
- 通級する時間（曜日）を決め、それに従って通級します。それ以外は、在籍する学級でみんなと同じように学習します。（週1回、1～2時間）
- 通級に必要な時間は、出席扱いになります。
- 通級指導教室への行き帰りの事故防止、また、指導内容を理解していただくため、保護者の付き添いをお願いしています。

指導の内容

- (1) 子どもの気持ちをしっかりと受けとめます。
どんなお話もよく聞いてもらえます。自分が認められ、受け入れられているという気持ちが育ちます。話したい気持ちが育ちます。
- (2) 子どもの興味に合わせて一緒に遊びます。
人と関わることの楽しさがわかります。好きな活動を通して満足感を得ます。遊びを提案したり工夫したりして、自発性・積極性が育ちます。
- (3) 子どものコミュニケーション意欲を育てます。
伝えたいことを表現できるようになります。落ち着いて人の話を聞く気持ちが育ちます。
※ 上記のことはどの子どもにとっても必要なことです。特に遊びは最も自然な自己表現であり、十分に遊ぶことによって、ことばが発達したり、発音が改善したりします。
- (4) それぞれの必要に応じた指導をします。
たとえば、音やことばなどを注意深く聞き取る力や態度を育てます。唇や舌、あごの動きなどを高め、正しい発音ができるようにします。補聴器を使って聴覚を最大限に活用できるよう援助したり、ことばの理解力・表現力を育てたりします。